

総合戦略事業評価シート

令和2年度	担当課	農林水産課
-------	-----	-------

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.111 新規農業者への支援及び環境整備
事業概要	新規就農者の増加を図り、今後の地域農業の担い手育成のため、支援体制を充実します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数								
		KPI		令和2年度までに延べ21人 ※「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で毎年3名の確保を目標としている						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	3	5	5	5	5	5	5	延べ人数5人（R2年度0人）
		達成率		23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
		担当課評価	県夷隅農業事務所、JAいすみ、市農業委員会等と情報の共有を図るなど連携し、就農にあたっての農地取得に係る現地案内や相談を行うなど推進に努めたが、新規就農者の確保には至らなかったことから、D評価とする。							
		D								
	改善（A）	【今後の取組み】								
		農業委員会と連携した就農相談体制のほか、各種就農フェアや千葉県主催の就農関連イベントへの参加呼びかけを継続して実施するなど、若者農家と行政・農業委員との交流を通して新規に若者が就農しやすい環境づくりや、支援等を行っていく。また、必要に応じて地域おこし協力隊の活用も検討する。定住促進施策との連携や農業委員会と協調して、農地取得がしやすくなるよう規制の緩和を検討するほか、農業経営の安定化や近代化を支援し、ほ場整備事業を推進するなど農業経営基盤の確立を行うことなどにより担い手育成を図る。								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとする。新規就農者が確保できなかった要因の分析を行うとともに、改善のうえ、引き続き支援体制の充実を図られたい。								
	D									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	農林水産課						
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保								
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化								
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展								
	地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進								
具体的施策	地場産業の育成支援								
事業名	No.112 新規漁業者への支援及び環境整備								
事業概要	漁業の担い手である新規漁業者を確保・育成するため支援体制を充実します。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規漁業者数									
		KPI 令和2年度までに延べ14人									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値	2	4	5	7	9	12	13	延べ人数13人（R2年度1人）	
		達成率		28.6%	35.7%	50.0%	64.3%	85.7%	92.9%		
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	例年開催される(一社)全国漁業就業者確保育成センターが主催する「漁業就業支援フェア」などの新規就業者のためのイベントが中止となる中、新勝浦市漁協において1名の新規就業者の確保することができた。また、新規就業者を対象とした短期研修や受け入れた漁業者に対して支援事業を実施し、新規就業者の定着に努めていることから、B評価とする。							
		改善（A）	【今後の取組み】								
			関係機関と連携し、今後も、新規就業者の確保・育成に努め、「漁業就業支援フェア」等のイベントに参加し、市・県外の人材にも着目し、幅広く新規就業者の確保に取り組む考えである。また、新規就労者の職業以外の面でサポートできるよう努めていきたい。								
			【評価等に対する意見】								
委員意見	委員評価	担当課の評価のとおりとし、引き続き支援体制の充実を図られたい。									
	B										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保		
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化		
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展		
	地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進		
具体的施策	地場産業の育成支援		
事業名	No.113 地(知)の拠点大学による地方創生の推進		
事業概要	千葉大学及び文部科学省が展開する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施協働機関として連携し、地場産業等育成に努めます。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】							
		担当課 評価 C	本事業は、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」と連携し、地方創生関係事業の推進を図ることを目的としているが、平成31年度で完了となった。 COC+構成大学であった千葉工業大学とのつながりは継続しており、令和2年度においても市内小中学校で使用するタブレットPCのほか、マスク文房具の寄贈があり、児童生徒の教育環境の充実につながっている。また、市内のモデル地域における移動困難者調査の集計・分析を行い、地域課題の解決に向けた連携を図ってきた。 しかしながら、コロナ禍であったため、平成31年度まで実施していた教育プログラム「星空教室」の開催も見送られ、相互交流は行われていない状況である。 また、国際武道大学との連携については平成31年度から具体的な進展は見られないが、国際武道大学と学生は、市の活力の源の一つであると考え、企業版ふるさと納税を活用した市と大学にとって有益なプロジェクトが何かを模索する中、企業版ふるさと納税の取組についての意見交換を行った。 以上から、本事業の評価をCとする。						
	改善 (A)	【今後の取組み】							
			国際武道大学との意見交換を定期的に行い、特に、企業版ふるさと納税の受け皿となるプロジェクトの立ち上げなど地方創生に資する課題解決に向けた連携を図っていく。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員 評価 D	担当課の評価のとおりとし、令和3年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度	担当課	農林水産課
-------	-----	-------

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の推進による地域のブランド化
事業名	No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化
事業概要	農林水産業者に対し、高所得化経営の推進するための研修を行います。 首都圏まで75キロという地の利を活かした他の地域との差別化を図りながら、遊休農地を活用した農産物の開発、マグロ・キンメダイなどの水産物のブランド化を推進し、販路の拡大に努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	新規就農者数						
		KPI	令和2年度までに延べ21人						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値	3	5	5	5	5	5	5
		達成率		23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%
		備考	延べ人数5人(R2年度0人)						
		目標事項	新規漁業者数						
		KPI	令和2年度までに延べ14人						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値	2	4	5	7	9	12	13
		達成率		28.6%	35.7%	50.0%	64.3%	85.7%	92.9%
		備考	延べ人数13人(R2年度1人)						
令和2年度	評価 (C)	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
		備考							
		【本年度評価】							
		担当課評価							
		B	【農林】勝浦産米を含めた「いすみ米」のブランド化を図るとともに、施設によるスプレーストック等花きの栽培やキウイフルーツの産地化、ほ場整備実施予定地区に県農業事務所等とタマネギ、さつまいも、ナバナ等高収益となる転作作物(野菜)の試作の取組を実施した。 【水産】例年実施しているイベントが軒並み中止となり、これらのイベントでの勝浦水産物のPRを行うことができなかったが、まずは市内での認知度を高めるため、市内の飲食店などを中心にポスターやのぼり旗により「マカジキ」のPRを行い、PR水産物の開拓を図り、更なる消費拡大に繋げた。 以上により、農林水産物の高付加価値化とブランド化に一定の成果があったと考えB評価とする。						
		改善(A)	【今後の取組み】 【農林】引き続き、農業事務所やJA等関係機関と連携を図り、栽培技術講習会や先進地視察を行い、所得向上に資する技術の確立に取り組むとともに、ほ場整備事業を契機に地域における担い手の確保するため集落での営農組織の育成により農産物の付加価値化に取り組む。 【水産】イベント等において勝浦水産物のPRを継続し、更にバイヤー等の流通関係者及び異業種との連携に視野を置き、また、付加価値向上のための地理的表示保護制度登録の検討を踏まえ、新たな勝浦ブランド水産物への取り組みを展開する。						
		委員意見	【評価等に対する意見】 委員評価 B 担当課の評価のとおりとし、以降も改善を図り、ブランド化に向けた取り組みを行うとともに、地元農水産物の今後の販路の確保など高所得化に向けた施策を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.131 企業立地の促進
事業概要	行川アイランド跡地や学校跡地等を活用した事業所の新設等を行う企業に対し相談体制の充実を図り、奨励措置・融資等の企業支援を講じます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	企業誘致件数						
		KPI	令和2年度までに延べ5件						
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	3	0	1	3	5	6	延べ件数6件
		達成率		0.0%	20.0%	60.0%	100.0%	120.0%	
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】							
		担当課評価	KPIとして、延べ5件の企業誘致件数を目標としており、すでに目標数値を達成しているが、R2年度は、コロナ禍にあり、企業訪問を実施することが出来ず、また、企業も事業活動の自粛傾向であったため、相談もまったく無かったことから、本年度評価についてはC評価とした。						
		C							
	改善 (A)	【今後の取組み】							
			引き続き、千葉県との積極的な連携により、本市の地理的状況等を踏まえ、特性にあった企業誘致を進める。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							
		C	担当課の評価のとおりとする。なお、コロナ禍においても、オンラインを活用したアプローチを行うなど積極的な企業誘致に努められたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課						
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保								
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化								
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展								
	企業誘致の強化・起業支援の強化								
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化								
事業名	No.132 中小企業の振興								
事業概要	経営の合理化や設備の近代化などに必要な融資を行い、併せて利子補給を実施することにより、市内中小企業の振興を図ります。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	R2年度は、利子補給件数を30件を目標値としていた。本市制度融資を利用している事業者に対し、計6件の利子補給を実施した。また、小規模事業者融資資金利子補給として、日本政策金融公庫が実行する融資に対し、27件の利子補給を実施し、合計で33件の利子補給を行った。 以上のことから、市内中小企業の振興に一定の効果があったことからB評価とする。							
		改善（A）	【今後の取組み】								
制度融資及び利子補給を継続し、中小企業者の支援に努める。											
委員意見	【評価等に対する意見】										
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、引き続き支援の充実を図られたい。									
		B									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保		
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化		
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展		
	企業誘致の強化・起業支援の強化		
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化		
事業名	No.133 商店街の活性化		
事業概要	商工会に対し、商店街活性化のための支援を実施し、各商店街の活性化を図ります。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
		担当課評価	勝浦中央商店会、興津商店会が主催する事業に対し補助金を交付し、新たなお客の来訪きっかけ創出につなげ、商店街活性化を促進した。コロナ禍で、イベントを実施しにくい状況であったが、新たにホームページを立ち上げた他、加盟店のデリバリー・テイクアウトチラシを作成・新聞折込など活性化に努めた。 以上、社会情勢に対応した取り組みにより活性化を図ったことからB評価とした。							
	改善（A）	【今後の取組み】								
		勝浦市商工会を通じ各商店会が独自に行う事業に対し補助金を交付し、商店会が主体的かつ独自性のあ る活性化への取組を支援する。また、多様な他団体との連携を促進し、相互協力関係を深める。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
		委員評価	担当課の評価のとおりとし、引き続き商店街の活性化のため、支援の充実を図りたい。							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課						
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保								
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化								
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展								
	企業誘致の強化・起業支援の強化								
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化								
事業名	No.134 起業支援								
事業概要	商工会と連携して空き店舗調査等を行い、起業者に対し相談や資金面での支援体制の充実を図り、開業率の上昇を促進するように努めます。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数								
		KPI 令和2年度までに年間40件								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
			20	20	24	36	36	41	38	
		達成率		50.0%	60.0%	90.0%	90.0%	102.5%	95.0%	
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								

令和2年度	評価（C）	【本年度評価】	創業支援の目標値として、創業資金融資への利子補給件数4件とし、創業支援等事業計画に基づき、勝浦市商工会を中心に創業に関する相談や創業資金融資の円滑化に努めた。創業資金に関する融資について、計5件の利子補給を実施し、創業支援に努めたことから、B評価とする。	
		担当課評価		
	改善（A）	【今後の取組み】		引き続き、勝浦市商工会との協力により、創業支援等事業計画に基づき、創業ワンストップ窓口の充実に努める。
委員意見	【評価等に対する意見】			
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、引き続き支援の充実を図られたい。		
	B			

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課						
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保								
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化								
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展								
	企業誘致の強化・起業支援の強化								
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化								
事業名	No.135 就労支援								
事業概要	就労を希望する者の、職業相談支援を行い、雇用の創出を図ります。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数									
		KPI 令和2年度までに年間40件									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
			20	20	24	36	36	41	38		
		達成率		50.0%	60.0%	90.0%	90.0%	102.5%	95.0%		
		目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	KPIとして、就業相談件数年間40件を目標とし、ハローワークから提供される求人情報の掲出・提供を行った。また、千葉県の実業であるUIターン移住支援金対象求人情報の発掘及び専用サイトである千葉県地域しごとNAVIへの掲載を促進した。 以上、就労情報の提供に努めたものの、目標値を下回っていることからC評価とする。							
		改善（A）	【今後の取組み】								
			ハローワークと連携しながら、市独自に求人情報の紹介方法を検討する。また、就職氷河期世代及び若者の就労支援について、千葉県及び千葉南東部地域サポートステーションと協力する。								
		委員意見	【評価等に対する意見】								
委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和3年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課							
基本目標		2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向		魅力的な観光地の基盤づくりの強化								
		イベント活動の充実と魅力の向上								
具体的施策		観光産業の育成・支援								
事業名		No.211 観光案内の環境整備								
事業概要		観光の基盤づくりとして観光拠点を強化し、観光客への情報発信体制を充実します。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）								
		KPI 令和2年度までに年間1,405千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991	1,095	900	306	R2年1月～12月
		達成率		79.7%	77.1%	70.5%	77.9%	64.1%	21.8%	
		目標事項 市内宿泊客数								
		KPI 令和2年度までに年間317千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	291	296	284	318	329	312	216	R2年1月～12月
		達成率		93.4%	89.6%	100.3%	103.8%	98.4%	68.1%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								

令和2年度	評価（C）	【本年度評価】	
		担当課評価	令和2年10月に（一社）勝浦市観光協会が観光地域づくり法人（DMO）として官公庁に登録された。 実施事業については、（一社）勝浦市観光協会、国際武道大学、マリンスポーツ事業者等と連携しインバウンド及びスポーツヘルスツーリズムの推進に係るコンテンツ造成事業を実施し、観光資源の再構築を図った。 新型コロナウイルスの影響により、不特定多数の入場が見込まれるイベントや海水浴場については中止となったが、入場者が特定される『勝浦ウォーターアイランド』は感染症対策を講じた上で開設し昨年を上回る集客を得た。また、勝浦ビッグひな祭りについては、オンラインイベントとして、動画配信を実施した。観光コンテンツ造成やコロナ禍におけるイベントを実施したことから、B評価とする。
		B	
	改善（A）	【今後の取組み】 観光を活かした地域振興を図るため、DMOである（一社）勝浦市観光協会を中心に地域観光の事業者と協同し、観光地域づくりを推進する。 令和2年度に造成したインバウンド、スポーツヘルスツーリズムに係る観光コンテンツ商品のプロモーション展開を図る。	
	委員意見	【評価等に対する意見】	
委員評価			
	B	担当課の評価のとおりとし、今後も情報発信体制の充実を図られたい。	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課							
基本目標		2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向		魅力的な観光地の基盤づくりの強化								
		イベント活動の充実と魅力の向上								
具体的施策		観光産業の育成・支援								
事業名		No.212 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備								
事業概要		既存イベント活動の充実を図るとともに、新たな観光資源の掘り起こしを行い地域の活性化を促進するよう努めます。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）								
		KPI 令和2年度までに年間1,405千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991	1,095	900	306	R2年1月～12月
		達成率		79.7%	77.1%	70.5%	77.9%	64.1%	21.8%	
		目標事項 市内宿泊客数								
		KPI 令和2年度までに年間317千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	291	296	284	318	329	312	216	R2年1月～12月
		達成率		93.4%	89.6%	100.3%	103.8%	98.4%	68.1%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								

令和2年度	評価（C）	【本年度評価】	
		担当課評価	入込客数について、海水浴場等、集客イベントは新型コロナ感染拡大防止の為に中止となった。こうした中でも、入場者が特定される勝浦ウォーターアイランドは感染症対策を講じた上で開設され、賑わいをみせた。 また、かつらビッグひなまつりはオンラインイベントとして、動画配信を実施しコロナ禍における新たな試みとして今後につなげる観光プロモーションを実施した。コロナ禍におけるイベント事業を実施したことからB評価とする。
	改善（A）	【今後の取組み】	
		イベントのマンネリ化を防ぎ、新たな誘客を求めるため、イベント内容に変化を求めたい。具体的にはかつらビッグひな祭りや若い世代も楽しめる企画や、中房総や安房地域など広域の観光周遊を盛り込んだ企画を強化することによる誘客を図る。 新型コロナウイルスの影響により多くのイベントが休止となっているが、コロナ禍における観光イベントなど、観光コンテンツの造成やプロモーション活動を図りたい。	
	委員意見	【評価等に対する意見】	
委員評価		担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。なお、感染症対策を講じたうえで、コロナ禍においても可能な限り、イベントの実施について検討されたい。	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
-------	--	-----	-----

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進							
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化							
	イベント活動の充実と魅力の向上							
具体的施策	観光産業の育成・支援							
事業名	No.213 漁村・農村観光の促進							
事業概要	今後の観光業の底上げを図るために漁業体験、農業体験などのメニューの構築や、観光マップの作成および周辺環境を整備し滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進します。							

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	達成率									
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】							
			担当課評価	本事業は、滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進することを目的としている。戦略事業番号「No.411 住民主導型地域づくり支援」のまちづくり活動団体「水土里の郷大森」の活動地域である大森地区では、畑作による体験農業メニューづくりを検討するなど、農村観光の機運も高まっている。企画課では、他のまちづくり団体や（一社）勝浦市観光協会に対して、これらの取組等の情報を提供しており、今後は関係者の協力を得ながら、新たな漁村・農村観光を実現したいと考える。以上から、本年度の評価をBとする。						
		改善（A）	【今後の取組み】							
			住民主導によるまちづくりを支援する事業に対する補助金交付事業は継続するが、令和3年度も依然、コロナ禍にあることを考えると、まちづくり団体の活動が縮小傾向にならないよう、そのフォローアップを行っていく必要がある。							
委員意見		【評価等に対する意見】								
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。								

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課						
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向	UIJターンの促進								
具体的施策	移住・定住の促進								
事業名	No.221 UIJターンの促進								
事業概要	都市住民を対象に本市への移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。								

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 移住相談件数									
		KPI 令和2年度までに年間170件									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値	126	144	154	161	168	91	75		
		達成率		84.7%	90.6%	94.7%	98.8%	53.5%	44.1%		
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】								
			担当課評価	KPIとして、相談件数年間170件を目標としていたが、コロナウィルス感染症拡大に伴い、電話による相談件数は増えたものの、移住相談会イベントがオンライン開催となるなど、全体的な相談件数が伸びなかったことからD評価とする							
		D									
改善 (A)		【今後の取組み】									
		オンライン相談ができる環境を整えるとともに、移住相談体制を強化し、テレワーク移住を促進する。									
委員意見	【評価等に対する意見】										
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。									
D											

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課						
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向	UIJターンの促進								
具体的施策	移住・定住の促進								
事業名	No.222 田舎暮らしの魅力発信								
事業概要	都市住民へ本市の魅力を体験してもらうため、お試し居住施設の整備を図ります。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	R2年度からお試し居住施設については、事業を中止したことからE評価とする。							
			E								
改善（A）		【今後の取組み】									
委員意見		【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとする。									
	D										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	観光商工課
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進		
基本方向	UIJターンの促進		
具体的施策	移住・定住の促進		
事業名	No.223 若者定住の推進		
事業概要	定住を希望する若い夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、奨励金を交付します。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
		担当課評価	R2年度の目標値を、奨励金交付件数17件としていたが、R2年度は新型コロナウイルスの影響を受けたため、8件にとどまったことから、D評価とする。 (H27＝19件、H28＝10件、H29＝14件、H30＝11件、H31＝7件、R2＝8件)							
		D								
	改善（A）	【今後の取組み】								
		オンライン相談ができる環境を整えるとともに、移住相談体制を強化し、テレワーク移住を促進する。								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。								
	D									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	都市建設課						
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向	UIJターンの促進								
具体的施策	移住・定住の促進								
事業名	No.224 住環境の整備								
事業概要	アパート経営者に対し、単身者向けから、ファミリー向けに改装した場合に補助を行い住環境の充実を図ります。								

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	達成率										
	令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】								
			担当課 評価	平成28年4月より勝浦市集合住宅リフォーム補助金交付要綱を策定しホームページ等により周知を行っていたが、申請件数は0であった。補助金額は対象経費の10分の1、上限50万円、且つ市内業者の施工によるものとなっており、集合住宅所有者の費用負担等を考えると当該補助金は市場需要に適合していないものと考えられる。このようななか勝浦市補助金審査検討委員会においても、移住定住施策を調整する中での新規枠組みを検討すべきとの見解に達したことからE評価とする。							
		改善 (A)	【今後の取組み】								
令和3年3月31日をもって都市建設課所管とする当該補助金は廃止する。											
委員意見		【評価等に対する意見】									
		委員 評価	担当課の評価のとおりとする。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度	担当課	生涯学習課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実	
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現	
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援	
事業名	No.311 婚活の支援	
事業概要	男女の出会いの場の創出として、婚活イベントやセミナーの開催、結婚相談などの体制を強化し、結婚成立のための支援を行います。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】							
		担当課評価							
		C	<p>本事業は、男女の出会いの場を創出するため、未婚男女の出会いの場「縁Cafe」、恋活/婚活イベント「寺コン」の開催を目標とし、評価指標に設定した。事業成果は以下のとおり。</p> <p>●未婚男女を対象とした出会いの場の提供として、人と人との結びつき、恋活/婚活を支援するためのイベントの企画から運営を「婚活支援員」に委託。気軽に参加できる出会い・ふれあいの場として毎月1回のイベント「縁Cafe」、恋活/婚活イベント「寺コン」の開催を予定したが、「新型コロナウイルス」感染拡大防止の観点から全て中止とした。</p> <p>●「結婚相談所」新規登録者の募集は継続的に実施したが、「婚活支援員」による登録者の面談・マッチング（お見合い）・成婚までの支援、「婚活支援員」の情報交換のための会議などについてもイベント等と同様、「新型コロナウイルス」感染拡大防止の観点から、モバイルメッセージアプリケーションの活用や、対面による登録者の面談・マッチング（お見合い）については、感染防止対策を講じたうえで回数を減らして実施した。</p> <p>以上から、本年度に2組のカップルが成婚した成果はあったものの、「新型コロナウイルス」感染拡大防止の観点からイベント等の中止や、情報交換・面談・マッチング回数が減少したことによりC評価とする。</p>						
		【今後の取組み】							
		改善（A）	<p>「結婚相談所」新規登録者及び「婚活支援員」の継続募集。</p> <p>「婚活支援員」による登録者の面談・マッチング（お見合い）・成婚までの支援。</p> <p>「婚活支援員」を主体とし、年間を通して未婚者を対象とした「恋活/婚活イベント」の開催。</p> <p>「結婚相談所」登録者及び「婚活支援員」を対象としたセミナー開催の検討。</p> <p>広域的な取組として、近隣市町自治体と連携しての「恋活/婚活イベント」開催を検討。</p>						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							
		C	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
- C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
- D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	福祉課							
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実									
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現									
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援									
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)									
事業概要	妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。 具体的な事例 ・産前・産後ケアの充実を図るため、保健師などによる訪問を行います。 ・母子の健康保持、増進を図るため、保健指導、健康診査、育児相談などを実施します。 ・妊婦を対象とした事業を実施し、妊婦同士の交流の場を提供することで子育ての孤立の防止や妊娠期から行政と顔の見える関係性を構築するよう努めます。 ・子どもを望む夫婦に対して、不妊治療への助成金を支給し経済的負担の軽減を図ります。 ・子育て必需品であるオムツ等を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 ・多子世帯の第3子以降の保育所・幼稚園の保育料を軽減することで、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。									
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率								
		KPI 令和2年度までに100.0%								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9	91.0	86.5	88.9	
		達成率		82.2%	94.3%	95.9%	91.0%	86.5%	88.9%	
		目標事項 3歳児健診率								
		KPI 令和2年度までに100.0%								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2	94.4	93.5	94.5	
		達成率		84.5%	95.2%	91.2%	94.4%	93.5%	94.50%	
令和2年度	評価(C)	【本年度評価】								
		担当課評価	子育て世代包括支援センターにおいて、年度当初より助産師を常勤とし、産前の妊娠期(母子手帳交付、妊婦訪問)から産後の育児期(授乳相談、産後ケア事業等)までの支援体制の充実を図った。乳幼児健診回数を増加し、新型コロナ禍においても、1.6歳・3歳児健診の受診率は前年度を上回ったものの目標には達しなかった。未受診者に対しては、電話連絡やこども園等を通じて、次回以降の受診勧奨に努めた(未受診者フォロー100%)。 また、引き続き、乳児おむつ等の助成事業、そして、子どもを望む夫婦に対して不妊治療費の助成を実施するなど、継続して保護者・夫婦の経済的負担の軽減に努めた。 この他、ゆりかご給付金(新生児・妊婦を対象とした給付金)を支給した。 以上の事業進捗により、評価をCとした。 なお、多子世帯第3子以降の保育所保育料助成については、令和元年10月から実施された幼児教育・保育無償化に伴い対象者の保育料について無償化となったため、令和2年度は事業を廃止した。							
	改善(A)	【今後の取組み】								
		子育て世代包括支援センターを活用し、助産師による妊娠から産後における保健指導を強化すると共に、引き続き産科医療機関や産後ケア実施施設と連携し、妊娠期から子育て期までを包括的に支援する事業を展開する。 1.6歳および3歳児健診については、感染症予防対策のため、回数を増やし実施する。あわせて、令和3年度から、新生児聴覚スクリーニング検査を新たに実施し、よりきめ細やかな支援に努める。 また、引き続き、乳幼児おむつ助成事業、不妊治療費助成を推進するとともに、令和3年度も妊婦を対象とした、ゆりかご給付金を支給し、子育て支援の一層の充実を図る。								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。								
		C								

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	学校教育課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実		
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現		
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援		
事業名	No.313 子どもを産み、育てる支援(就学から高校を卒業するまで)		
事業概要	児童・生徒の学力向上に向けた研究を行うとともに、国際化に対応した人材の育成を推進するよう努めます。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
		担当課評価	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の海外派遣事業については中止したものの、外国語指導助手3名を計画どおり各学校等へ派遣し、英語教育の充実を図ったことからB評価とした。							
	B	※海外派遣事業実績 平成29年度 11名（うち教職員2名） 平成30年度 18名（うち教職員2名） 平成31年度 12名（うち教職員2名） 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止								
	改善（A）	【今後の取組み】								
		中学生海外派遣事業の実施については、来年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況次第ではあるが、2年生・3年生を対象に定員30名による実施を計画している。 外国語指導助手については3名体制により、各学校等への派遣を行う。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員評価		D								
		担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度

担当課

学校教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】							
		担当課評価	新型コロナウイルス感染症の影響により一部実施できない事業等もあったが、稲刈りや林業体験など子どもたちに対する地域教育を推進することができ、郷土に対する意識の高揚に一定の効果があったことから、B評価とする。						
		B							
	改善 (A)	【今後の取組み】							
		各学校における特色ある学校教育が展開できるようサポートを実施 様々な教科と関連付けし、横断的な実施を促進 また、子どもによるまちづくり提案事業を学校への周知するとともに、学校が提案しやすくなるよう教育委員会としてサポートを実施する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							
		B	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実		
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現		
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援		
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)		
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 子どもによるまちづくり提案事業件数(延べ)								
		KPI 令和2年度までに18件								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	2	2	7	12	15	16	18	延べ件数18件 (2年度2件)
		達成率		11.1%	38.9%	66.7%	83.3%	88.9%	100.0%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価 (C)	【本年度評価】								
		担当課 評価	<p>小中学校を訪問への周知のほか、過去の利用実績のある団体に声かけするなど事業の周知を行い、新たに1団体の補助申請があった。</p> <p>この団体は、SNSを通じ、サーフィンなどの市の地域資源をPRする活動を主としたものであり、これまでにない新しい取組と捉えている。</p> <p>令和2年度の活動件数は2件となり、前年度から1件増加しているものの、コロナ禍という状況を考慮しても活動団体あるいは補助相談数は少ない状況が続いていることから、本年度のC評価とする。</p>							
	改善 (A)	【今後の取組み】								
		<p>補助事業実施にあたっては、今後も新型コロナウイルス感染防止対策を求めるとともに、新たな活動団体を掘り起こすため、補助事業の周知や活動のイメージが沸くような説明に努め、さらにまちづくりへの関心を高めて自発的に行動する意識づけを目指し、まちづくりを促進する。</p>								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員 評価		<p>担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。</p>								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	福祉課						
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実								
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備								
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持								
事業名	No.321 子育て支援施設の整備								
事業概要	勝浦小学校の対象児童の受入れに必要な定員を確保するため、元勝浦幼稚園敷地内に、かつうら放課後ルームを整備し、放課後や週末に等に児童が安心して生活できる居場所を確保します。 ・かつうら放課後ルームを整備します。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	勝浦小学校の対象児童の受入れに必要な定員を確保するため、かつうら放課後ルーム建設に向けて、令和2年度においては元勝浦幼稚園舎の解体を完了したため、評価をBとした。 なお、勝浦こども園から元勝浦幼稚園敷地へと至る市道整備が延期されたことに伴い、当初予定していたかつうら放課後ルーム施設の設計業務は延期とした。							
		委員意見	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。							
B											
改善（A）		【今後の取組み】 関係市道の整備に目途が立つまでの間、勝浦小学校区における利用児童見込数を再度検証し、建設規模について、検討する。									

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	学校教育課						
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実								
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備								
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持								
事業名	No.322 学校の整備								
事業概要	児童生徒数の動向を踏まえた学校規模の適正化や適正配置をはじめ、計画的な施設の維持補修に努めます。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	上野小学校及び興津小学校体育館の非構造部材の耐震化や新型コロナウイルス感染症対策として体育館のシーリングファンの設置など、学校施設の適正な維持管理に努めることができたことから、B評価とする。							
			B								
改善（A）		【今後の取組み】									
委員意見		【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。									
B											

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
-------	--	-----	-----

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進							
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援							
具体的施策	地域づくりの支援							
事業名	No.411 住民主導型地域づくり支援							
事業概要	住民が自ら、自発的に考え、行動し、地域の課題について考え、地域資源を活かし、地域の環境向上を行うことを支援し、市主導ではない、住民主導の地域づくりの芽を育みます。							

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 住民主導型地域づくり支援事業件数								
		KPI 令和2年度までに延べ18件								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	-	2	5	8	11	15	17	延べ件数17件 （2年度2件）
		達成率		11.1%	27.8%	44.4%	61.1%	83.3%	94.4%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								

令和2年度	評価（C）	【本年度評価】	
		担当課評価	本事業は、地域住民が主体となって地域課題に取り組む団体の育成を目的としている。企画課では、まちづくり活動団体への支援（補助）が本事業の目的に資するものと考え、前年度に支援した団体が継続してまちづくり活動ができるよう、その補助件数3件を評価指標に設定した。本年度の実績は以下のとおり。 ●平成31年度から継続して実施している、水土里の郷大森、勝浦アクティブパートナーズ、南勝浦リゾートプレスの3団体が支援対象団体であったが、コロナ禍にあり事業実施が困難と判断した南勝浦リゾートプレスは令和2年度の補助申請を見送り、2団体が補助金の交付を受けている。 ●令和2年度に補助事業を実施した団体、見送った団体に加え、昨年度で当該補助金の交付期間が満了となった鵜原区による情報交換会を令和3年3月24日に実施し、コロナ禍での課題や今後の活動方針などの情報共有を図り、持続可能なまちづくり活動の支援を行った。 以上から、本年度の評価をBとする。
	改善（A）	【今後の取組み】	
		令和3年度においても継続して各地区の自主性に基づいた活動を補助金を通じて支援するとともに、補助金の支援が5年であることから、6年目でも持続可能な活動となるよう協議、相談を行っていく。	
	委員意見	【評価等に対する意見】	
委員評価		担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	生涯学習課							
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進									
基本方向	健康寿命の延伸									
具体的施策	地域づくりの支援									
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進									
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・国際武道大学と連携し各種スポーツ教室等を開催し市民の健康づくりを推進します。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 学校施設開放事業登録団体数								
		KPI 令和2年度までに36団体								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	39	36	31	33	32	30	33	
		達成率		100.0%	86.1%	91.7%	88.9%	83.3%	91.7%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
		担当課評価	学校施設開放事業登録団体は、年々減少傾向にありましたが、令和2年度については、ソフトボール・タグラグビー等の団体が新規登録団体となり前年度と比較し3団体の増となった。国際武道大学との連携事業とし、大人から子どもまで幅広い世代が交流できるバレーボール教室、小学生を対象とした器械体操教室やタグラグビー教室、20歳以上を対象とした大人の体力測定の他に、高齢者学級ではパークゴルフ大会、中学生を対象とした陸上教室やコンディショニング教室を計画しておりましたが、陸上競技教室を除き各種スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむを得ず中止することになりました。以上から、新型コロナウイルス感染症の影響により各種スポーツ教室は中止となったものの、学校施設開放事業登録団体数が増加したことにより達成率が91.7%に改善されたことから、B評価とする。							
	改善（A）	【今後の取組み】	市民のスポーツに対するニーズを的確に把握するとともに、子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるよう、国際武道大学と連携しながら各種スポーツ教室等を企画し、スポーツ振興及び健康増進に努める。また、各種スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】	委員評価 B 担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	市民課							
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進									
基本方向	健康寿命の延伸									
具体的施策	地域づくりの支援									
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進									
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・健康増進に対して活動を行っている市民団体に対して支援を行います。									
計画(P) ↓ 実施(D)										
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	目標事項 特定健診受診率(国民健康保険)								
		KPI	令和2年度までに60.0% ※勝浦市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画の数値目標と一致							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	22.6	25.6	24.0	25.2	25.5	32.3	27.4	
		達成率		43%	40%	42%	43%	54%	46%	
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
令和2年度	評価(C)	【本年度評価】								
		担当課評価	健康寿命の延伸を図るための事業として、健康ハツラツ・フィットネス教室など国際武道大学との連携による事業のほか、市民団体への健康啓発も行ってきたが、本年度は集合形式での事業実施が不可能となったため、自宅でも運動ができる「スマホでフィットネス」事業を開催した。一方、特定健診受診率については、対象者への一斉通知、過去の受診歴を参照しAIを活用した未受診者への受診勧奨や医療機関での個別健診を新たに開始し、受診しやすい環境づくりを行った。これらの取り組みにより受診率向上に努めたものの、特定健診受診率の目標値との乖離が大きいことから、C評価とする。							
	改善(A)	【今後の取り組み】								
		健康寿命延伸のため、国際武道大学との連携による健康ハツラツ・フィットネス教室を感染防止対策を講じた上で継続するとともに、全対象者への一斉通知、過去の受診歴を参照し未受診者への電話受診勧奨を実施する。また他の検診(大腸がん、前立腺がん)と同時実施することで、相乗効果として受診率向上を図る。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員評価		担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。								
		C								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進		
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援		
具体的施策	地域づくりの支援		
事業名	No.413 広域連携の促進		
事業概要	地域の実情に応じた自治体間の連携を深め、事務分担や政策面において自由度を拡大して広域連携を促進するよう努めます。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
目標事項										
KPI										
	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
数値										
達成率										

令和2年度	評価（C）	【本年度評価】 担当課評価 C 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年参加している和歌山県那智勝浦町の『南の国の雪まつり』、徳島県勝浦町の『軽トラ市』への出展を中止した。 また、令和2年度は各首長が出席する全国勝浦ネットワーク会議を徳島県勝浦町で開催する予定であったが、Zoomによるオンライン会議を開催した。 以上のことから、オンラインでの会議を行ったものの、交流促進としては不十分であったと考え、C評価とした。
	改善（A）	【今後の取組み】 新型コロナウイルス感染状況により、活動内容が変動する可能性があるが、例年参加している和歌山県那智勝浦町の『南の国の雪まつり』、徳島県勝浦町の『軽トラ市』への出展するとともに、勝浦市で実施する「朝空マーケット」あるいは「かつうらビッグひな祭り」への参加を要請するなど、交流促進を図る。
	委員意見	【評価等に対する意見】 委員評価 C 担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
-------	--	-----	-----

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進							
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援							
具体的施策	地域づくりの支援							
事業名	No.414 国際化の推進							
事業概要	市民の国際化社会への対応や、異文化交流に接する機会増進を目的として、姉妹都市の提携などを検討します。							

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】							
			担当課評価	昨年度に引き続き、時差の少なさや、海岸観光を利用した産業体系、オリンピックサーフィン競技の強豪国であることなど、勝浦市と関連事項の多いオーストラリアを選定して、自治体国際化協会（CLAIR）のホームページに姉妹都市交流を希望する自治体として掲載している。しかしながら、新型コロナウイルスに関する世界的な収束が見通せない中、現時点においては、姉妹都市交流施策の抜本的な見直しが必要と考えるため、E評価とする。						
		改善（A）	【今後の取組み】							
海外都市との交流の可能性については引き続き模索する一方で、国際武道大学留学生等との交流機会の創出・拡大等による異文化交流など、姉妹都市交流に限らない、市民と外国人の交流の方法を検討する。										
委員意見		【評価等に対する意見】								
	委員評価	担当課の評価のとおりとする。								

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

令和2年度		担当課	企画課
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進		
基本方向	地域振興拠点施設の整備		
具体的施策	地域交流・地域振興施設の整備		
事業名	No.422 公共交通の整備		
事業概要	平成26年10月から新たな公共交通施策として実施している予約制乗合タクシーの実証運行を継続して行い、市民の移動手段の確保及び検討を行います。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	令和2年度	評価（C）	【本年度評価】								
			担当課評価	デマンドタクシーの勝浦市生活交通ネットワークに示された目標は、1日あたりの利用者数19.0人であるが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響により、令和2年度の1日あたりの利用者数は14.8人と低下しており、目標に達しなかったことから、C評価とする。							
			C	【デマンドタクシー乗車実績】 平成30年度は17.8人（運行日数292日、5,201人） 平成31年度は19.8人（運行日数291人、5,772人） 令和2年度は14.8人（運行日数293人、4,337人）							
改善（A）		【今後の取組み】									
		今後も利便性を向上させ、市民の移動手段としての役割を果たせるよう改善に努めるとともに、広報、パンフレット、ポスターによる周知を継続して実施するなど、利用者増加に努める。 また、令和2年度から実施しているデマンドタクシーやタクシー業者などの市内公共交通事業者に手指消毒液を定期的に配付し、新型コロナウイルス感染防止対策を当面継続する。									
		【評価等に対する意見】									
委員意見	委員評価	担当課の評価のとおりとし、今後も改善を図り、事業を継続されたい。									
	C										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。